

抗 Rpn3 (*S.cerevisiae*) 抗体, ウサギ抗血清

62-201 100 µl

保存: 4℃もしくは-20℃で送付、小分けして-20℃で保存。凍結・融解は避けるが、必要な時は急速に行う。

免疫原: 大腸菌に発現させたリコンビナント酵母 Rpn3p

形状: 0.05 % sodium azide 添加ウサギ血清

反応性: *S. cerevisiae* Rpn3p。他の種は試されてない。

用途:

- 1) ウェスタンブロッティング (~1000 倍希釈)
- 2) 免疫沈降

その他の用途は試されてない。

背景: プロテアソームはユビキチンで修飾されたタンパク質を分解する酵素である。ユビキチン-プロテアソームによる分解システムは、傷害を受けたりミスフォールドしたタンパク質を除去するのみならず、細胞周期制御、免疫応答、シグナル伝達といった細胞内の様々な働きに関わっている(文献 1)。**Rpn3p** は 26S プロテアソーム lid (蓋部) の重要な non-ATPase 制御サブユニットであり、ヒト 26S プロテアソームの p58 サブユニットに相同である(文献 2、3、4)。

データリンク: SGD [RPN3/YER021W](#)

関連製品: #62-203 anti-Rpn5, #62-205 anti-Rpn7, #62-207 anti-Rpn9, #62-209 anti-Rpn12, #62-211 anti-Nob1, #62-213 anti-Nas6, #62-215 anti-Tem1

文献: この抗体は文献 3 と 4 で用いられた。

1. Hershko A and Ciechanover A "THE UBIQUITIN SYSTEM." *Annu. Rev. Biochem.* **67**: 425-479 (1998) PMID: [9759494](#)
2. Finley D *et al* "Unified nomenclature for subunits of the Saccharomyces cerevisiae proteasome regulatory particle." *Trends Biochem Sci* **23**: 244-245 (1988) PMID [9697412](#)
3. Glickman MH *et al* "A subcomplex of the proteasome regulatory particle required for ubiquitin-conjugate degradation and related to the COP9-signalosome and eIF3." *Cell* **94**: 615-623 (1998) PMID: [9741626](#)
4. Isono E *et al* "Rpn7 is required for the structural integrity of the 26S proteasome of Saccharomyces cerevisiae." *J Biol Chem* **279**: 27168-27176 (2004) PMID: [15102831](#)

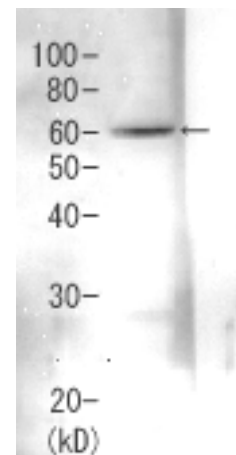


図 1 この抗体を用いた *S. cerevisiae* 粗抽出液におけるウェスタンブロッティングにより Rpn3 (60kDa)を検出した。